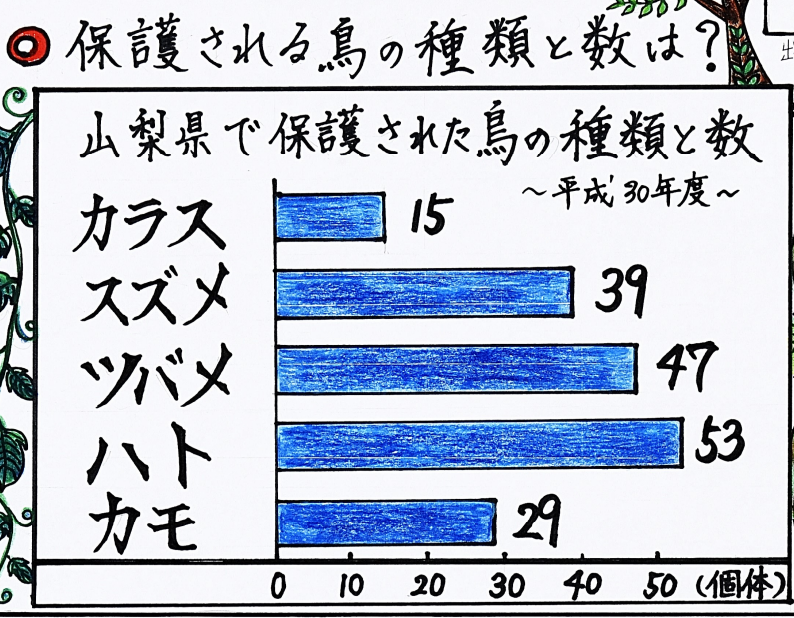
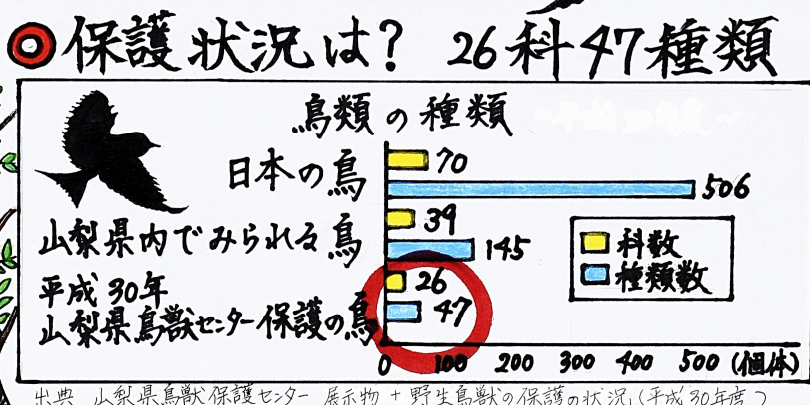


地球で共に生きる未来を目指して「野鳥の保護について考える」

山梨県鳥獣保護センターとは？
傷ついて飛べなくなった鳥や獣、
又は自分で生活出来ない幼獣
やヒナを保護し、自然に返す
役割をしている。



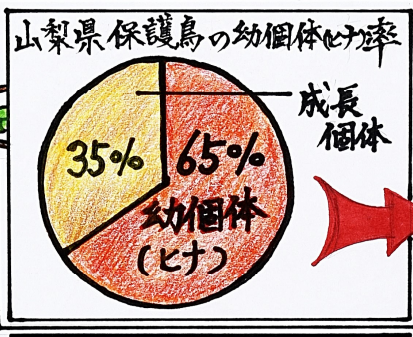
山梨県で保護された鳥ベスト5

順位	種類	比率(%)
1	ハト	19
2	ツバメ	17
3	スズメ	14
4	カモ	10
5	カラス	5

◎なじみの鳥が多い。
民家に巣作りしたり、
民家周辺で過ごす
ため、人目につき
保護されやすい。

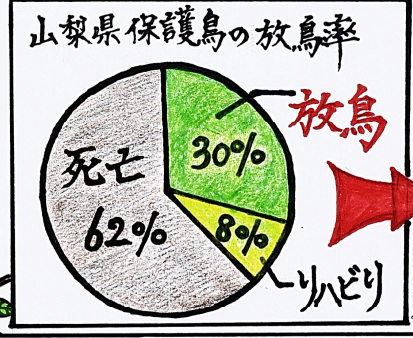
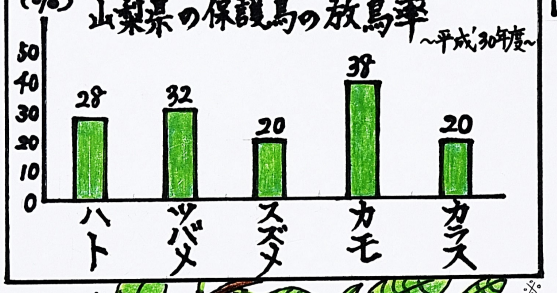
※出典 山梨県鳥獣センター
野生鳥獣の救護の状況
(平成30年度)

◎山梨県で保護された鳥の
幼個体率(ヒナ)は？



全体の65%がヒナであると判明
「巣立ち直後のヒナ」の誤認
保護の例が多い。
→ 日本鳥類保護連盟
「ヒナを拾わないで」キャンペーン実施

◎山梨県で保護された鳥の
放鳥率は 高い？ 低い？



放鳥率30% 低確率
野鳥保護の難しさ・野性環境
における成長の重要性

※出典 山梨県鳥獣センター
野生鳥獣の救護の状況 (平成30年度)

もし庭先などで
幼い感じのヒナに出会ったら？
 しっかりと立てる → そっと見守る
 ケガ・立てない → 山梨県鳥獣保護センターへ連絡(055-252-9161)

私達人間は、野鳥をはじめ様々な野生動物と適切に関わり、
豊かな自然の恩恵を分け合い、地球で共に生きる未来を目指す！